



▲ジョークを交えた講演に会場は盛り上がりました

地元の市民が中心となって2年に1度行われている「第10回興風人権文化のつどい」が、市日吉興風交流センターおよび体育館で行われました。交流センターには、地元の方が作られた工芸作品や、絵画、書道が展示されました。また、体育館では舞踊やバンド演奏が発表されたほか、帝塚山学院大学のジェフ・バーグランド教授による「人の痛みが分かる人間になろう」と題した講演が行われ、「他人の心の痛みを分かろうとする気持ちが大仕事」と呼びかけられました。

(11 / 24・25 第十回興風人権文化の集い)

## 「人権文化の満ちあふれた社会を築く」

園部町、八木町、日吉町で恒例の文化祭が各文化協会の主催で多彩に開催されました。日ごろ市内で活動しているサークルを中心に、芸術鑑賞の機運を醸成し、心豊かな人間性の啓発と、文化の高揚を図るとして、美術、写真、書道、華道、文芸などの展示、音楽や舞踏、劇、琴などの舞台発表やお茶席などが行われました。

各会場では、多くの市民が展示作品や舞台芸能の数々にふれ、芸術の秋を満喫しました。



▲日吉町文化祭での舞台発表

(園部町・八木町・日吉町 文化祭)

## 「文化の高揚を図り芸術の秋を彩る」

## 「色とりどりの紅葉に染まる美山を歩く」



▲会場を出発してかやぶきの里を目指す参加者

毎年恒例となっている「第8回美山かやぶきの里ワンデーマーチ」が、市立宮島小学校をスタートし、大野ダム方面へ向かって歩く12\*。コースと、かやぶきの里(美山町北地区)へ向かって歩く18\*。コースに分かれて行われました。美山の美しい秋の景色が楽しめるとあって、全国からおよそ650人のウォーキング愛好者らが参加し、紅葉に染まる美山の秋を堪能しました。

また、宮島小学校グラウンドでは、「美山ふるさと祭り」も行われており、地元で採れた野菜の販売や、ステージ発表などで訪れた人々を楽しませました。

(11 / 3 第八回美山かやぶきの里ワンデーマーチ)

## 「るり溪の歴史と文化を伝えてゆく資料館」

園部町にある“るり溪”を中心に、西本梅地域の自然や文物を紹介する「るり溪資料館」が旧園部幼稚園西本梅分園の建物を利用して整備されました。同資料館は地域の住民グループ「本梅探友会」(奥村覚会長)らが開館の準備を進められてきたもので、会員が40年以上前から収集している岩石のほか、樹木標本、江戸時代の農機具、るり溪ゆかりの書物や掛け軸など1,000点近くが展示されています。資料館の前には市立西本梅小学校があり、子どもたちに地域の歴史を伝えていくための資料などとして利用されます。



▲展示品を解説しながら地域の歴史を話される奥村会長

(11 / 18 るり溪資料館開館式)